

第 1 学年 英語科学習指導略案

- | | | |
|---|---------|--|
| 1 | 主 題 | 安全な水とトイレ SDGs について考える |
| 2 | ね ら い | 教科書の題材や様々な資料から、人権尊重や SDGs の取組について理解を深める。 |
| 3 | 人権教育の内容 | 生命の尊厳についての学習 2 - (1) - ア |
| 4 | 展 開 | |

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 教科書 P. 92 を読み、ケニアにおける水事情を知る。</p>	<p>○ 教科書の挿絵を参考に、本文の内容理解を進めていく。</p>
<p>2 教科書の内容をさらに細かく理解していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 井戸からきれいな水を得ている。 ・ 子どもたちは笑顔である。 ・ 子どもたちが長い距離を歩いて川へ行き、水を運んでこなければならぬ村もまだある。 ・ 子どもたちは学校へ行きたくても行けない。 	<p>○ 読み取り用ワークシートを用意し、グループで助け合いながら読み取りを進める。</p>
<p>3 中村哲さんの動画を視聴する。</p>	<p>○ 視聴前に、簡単に中村哲さんについて紹介をする。</p>
<p>4 生き物にとっての「水」を考える。</p> <p>○ 水がないことで困ることって何だろう？ 班で相談し、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲み水がないと生きていけない。 ・ お風呂やトイレが使えない。 ・ 手が洗えなくて病気が流行する。 ・ 人間だけでなく、生き物全体が生きていけない 	<p>○ 「きらめき」に掲載されている「SDGs 関連図」を読み、目標 6 安全な水とトイレが、「あらゆる形態の貧困と飢餓に終止符を打ち、尊厳と平等を確保する」ことにつながることを確認させる。</p>
<p>5 中村哲さんの著書「わたしはゼロ弾きのゴーシュ」(NHK 出版)に掲載されている文章を読み、中村さんがきれいな水にこだわった理由を知る。</p>	
<p>6 自分に関心のある SDGs の目標について、簡単にタブレットにまとめる。</p>	<p>○ 関心のある目標とその理由を端末にまとめる。</p>
<p>7 まとめたものを提出し、みんなで考えを共有する。</p>	<p>○ 提出されたものをスクリーンに提示する。</p>

- 5 評 価
- ・ 世界には、日本と異なる事情で暮らし、命の問題と直面している人たちがいることを知ることができたか。
 - ・ この学習を通して学んだことを、自分の生活の中で生かそうとする意欲を高めることができたか。
 - ・ 学習活動に積極的に参加し、自分の考えや思いを表現するとともに、友だちの考えや思いを受けとめ、共に生きる意欲をより高めることができたか。

[別紙②]

実践事例「SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」を考えよう」について考えよう
〈生徒の感想文より〉

私は14番目の目標「海の豊かさを守ろう」について発表をしました。ふだん私たちが使っているプラスチック製品が海に流れ出て、海の生き物にとって危険な状態が起っています。ポイ捨てなどをせず、ごみはごみ箱に捨てる。燃える物と燃えないものを分別して捨てることが私にはできることなので、実行していきたいです。

私は2番目の目標「飢餓をゼロに」について発表しました。日頃から食べ物を残さないようにしたいし、給食の時には自分が食べられる量だけを入れてもらうなど、捨ててしまう食べ物が出ないよう心がけたいです。調べ学習をしていく中で、「freerice.com」というサイトを見つけました。様々な種類のクイズが4択式で出題され、1問正解するたびにWFPを通じて飢餓に苦しむ国の人たちにお米が寄付されるものです。こういった取組に参加することも大事だなと思いました。

私は5番目の目標「安全な水とトイレを世界中に」について発表しました。水道設備のない暮らしをしている人は22億人以上、トイレが整備されていない人は42億人以上です。私たちが普段できることは、洗濯やトイレなどの水の無駄遣いを減らすこと、せっけんや洗剤を使いすぎないことなどがあります。私は、お皿についた油汚れをあらかじめふき取することを心がけています。

私は13番目の目標「気候変動に具体的な対策を」について発表しました。この目標を調べた理由は、最近日本でも気温の上昇などにより、農作物がうまく生育しないとニュースで知ったからです。私たちも気候変動の影響を受けていると身近に感じました。「気候変動」は英語でclimate changeといいます。私たちにできることはこまめに電気を消して節電したり、3Rsを心がけることだと思うので、実行していきたいです。

私は12番目の目標「つくる責任つかう責任」について発表しました。世界が途上国に援助している食べ物の量よりも、日本がムダにしている食べ物の量の方が多いことを知り、本当に驚きました。私は、リデュース、リユース、リサイクルの3Rを心がけていきたいです。他にも、買い物をするとき、環境や人権に配慮された製品を積極的に選び、それらを作っている企業を応援することもつかう責任を果たすことにつながることを知り、私にもできるかなと思いました。



〈授業の様子〉



〈生徒の作品例〉